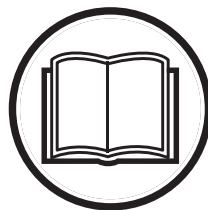


取扱説明書

125B 125BX-SERIES 125BVX-SERIES

この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、ブローワーを使用するようにしてください。



Japanese

目次

目次	
はじめに	2
シンボルマークの表記	3
安全上の注意事項	5
各部の名称と説明	7
燃料の取り扱い	12
始動と停止	14
ブロワーの使用	15
メンテナンス	18
テクニカルデータ	22

はじめに:

ハスクバーナ AB 社は製品の品質向上のため、予告なしに製品の設計や外観の変更を行うことがあります。ご了承ください。長時間にわたり騒音にさらされた場合、恒久的な聴覚障害を引き起こす可能性があります。必ず承認されている耳の保護具を着用してください。

本取扱説明書はブロワーの使用および点検方法と定期メンテナンスの実施方法について記載してあります。また、ブロワーを安全にお使いいただくための注意事項、安全装置の機能と点検方法についても記載してあります。

注記! 安全注意事項を必ずお読みになって、内容をよく理解したうえでブロワーを使用してください。

本取扱説明書はブロワーの故障診断、精密点検、および保守を円滑に行うための指針として記載されたものです。

ブロワーには警告表示があります。ブロワーの警告表示が損傷を受けたり見にくくなった場合は、速やかに新しいものと交換してください。警告表示は部品に刻印されている場合もあります。

ブロワーは地面にある落ち葉やがれき等を吹き飛ばすために使用します。ブロワーを使用するときは、両足で地面にしっかりと立って操作してください。

お客様に安心して製品をお使いいただくため、製品登録をお願いいたします。製品をお使いいただくために欠かせないサポートサービスや緊急情報の提供は、登録され

たお客様のみ対象となります。ご利用の前に必ずご登録ください。

www.jp.husqvarna.com

警告!

いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなくブロワーの設計に変更を加えないでください。必ず純正のアクセサリーを使用してください。不認可の設計変更や非純正アクセサリーの使用は、使用者やその他の人の重傷や致命傷の原因となることがあります。非純正のアクセサリーや部品の使用による製品の破損や不具合は保証対象外となります。

シンボルマークの表記

シンボル マーク	説明	場所	
		ブロー	取扱説明書
	保守、点検を行う場合は、必ずエンジンを切り、スパークプラグを抜いてから行ってください。		X
	定期的に清掃を行ってください。		X
	承認されている保護メガネやバイザーを必ず着用してください。		X
	埃が多い環境では必ず保護メガネやバイザー、耳の保護具、およびフェイスマスクを着用してください。	X	X
	警告! ブローの使用は危険を伴います。不注意や不適切な使用によって重大な事故や死亡事故の原因となる可能性があります。	X	X
	本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解したうえでブローを使用してください。	X	X
	警告! インレットカバーが閉じてロックされている状態、もしくはバキュームチューブがブローに装着されている状態であることを必ず確認してください。インペラーに触れるときには、必ずブローのエンジンを止めインペラーの動きが停止した後、スパークプラグを抜いてから触れてください。	X	X
	必ず承認されている保護手袋を着用してください。	X	X
	警告! ブローが高速で対象物を吹き飛ばす際に、対象物が跳ね返り使用者に当たる可能性があります。その場合、目に重大な損傷を受けるおそれがあります。	X	X
	ブローを使用するときは、周囲 15メートル以内に人や動物がいないことを確認して使用してください。複数の使用者が同じ作業領域で作業する場合は、15メートル以上離れて作業してください。	X	X

シンボルマークの表記

シンボル マーク	説明	場所	
		ブロー	取扱説明書
	ブローを使用するときは、周囲15メートル以内に人や動物がいないことを確認して使用してください。複数の使用者が同じ作業領域で作業する場合は、15メートル以上離れて作業してください。	X	X
	チョーク	X	X
	給油	X	X
	ストップスイッチ	X	X
	インレットカバーの開き方	X	X
	本製品はEC指令適合製品です。	X	X
	7.5メートル離れた場所で計測の音圧レベル	X	X
	EC指令に基づく環境への騒音排出。ブローの騒音排出については、本取扱説明書の「テクニカルデータ」およびラベルに記載してあります。	X	X

ブローに表示されている他のシンボル／銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示しません。

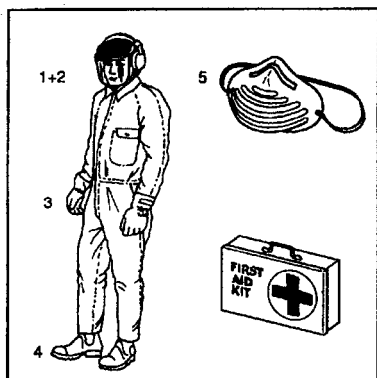
安全上の注意事項

警告! 本ブローワーの運転中には電磁波が生じます。状況によっては、体内植込型医用電子機器の電磁波と干渉する可能性があります。深刻な事態が生じる危険性を低減するために、体内植込型医用電子機器を装着している場合は、かかりつけの医師や体内植込型医用電子機器のメーカーに相談したうえで本ブローワーを使用することをお勧めします。

使用者着用の安全器具

ブローワーを使用するときは、以下の安全器具を必ず着用してください。

1. 承認されている耳の保護具
2. 承認されている目の保護具
3. 承認されている保護手袋
4. 靴底に滑り止めの付いているブーツや作業靴
5. 埃が多い環境でブローワーを使用するときのフェイスマスク



使用者の安全注意事項

ブローワーの使用者に関する注意事項を以下に記載します。

- 必ず本取扱説明書をお読みになり、内容をよく理解したうえでブローワーを使用してください。
- だぶだぶの服装、スカーフやネックレスの着用、ロングヘアーを束ねないま

までの作業は避けてください。ブローワーの回転部に巻き込まれて負傷する可能性があります。

- 疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときはブローワーを使用しないでください。
- 未成年者のブローワーの使用は禁止します。

必ず救急箱をすぐ使える場所に準備しておいてください。

燃料の安全注意事項

警告! ブローワーに使用する燃料には以下の危険性があります。ご注意ください。

1. 揮発性の液体であり、その蒸気と排気ガスは有害です。
2. 直接触れると皮膚に炎症を起こす可能性があります。
3. 可燃性が非常に高いです。

ブローワーに使用する燃料についての安全上の注意事項は「燃料の取り扱い」に記載してあります。

マフラー

マフラーは、騒音レベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざけるように設計されています。触媒コンバーター搭載のマフラーも有害な排気ガスを低減するように設計されています。

警告! エンジンからの排気ガスは高温となり、また火花が含まれている場合もあるため火災の危険があります。ブローワーを屋内や可燃性物質の近くで始動させることは絶対におやめください。

警告! 触媒コンバーター搭載のマフラーは、運転中および停止後しばらくは非常に高温になっています。アイドリングの場合も同様です。接触すると火傷のおそれがあります。また、火災の危険もありますので、ご注意ください。

安全上の注意事項

安全装置

警告! 安全装置や保護具が一つでも不足していたり故障している場合はブローワーを使用しないでください。

ブローワーには事故を防ぐための安全装置や保護具が数多く取り付けられています。これらの説明は「各部の名称と説明」に記載してあります。安全装置や保護具は定期的に点検やメンテナンスを行う必要があります。点検とメンテナンスの実施方法と時期については、「メンテナンス」に記載してあります。

ブローワー運転中の安全注意事項

- 本ガーデンブローワー／バキュームは落ち葉やがれき等を吹き飛ばしたり取り除いたりすることを目的としています。
- 使用者の周囲15メートル以内の作業領域に人や動物が入ることのないようにしてください。
- ブローワーが高速で対象物を吹き飛ばす際に、対象物が跳ね返り使用者に当たる可能性があります。その場合、目に重大な損傷を受ける可能性があります。
- ブローワーノズルを絶対に人や動物に向けしないでください。
- アクセサリーなどの部品の取り付けや取り外しは、エンジンを止めてから行ってください。
- 保護具が一つでも不足している場合はブローワーの使用はおやめください。
- 排気ガスを吸い込むような換気の悪い場所でのブローワーの使用はおやめください。
- 給油するときはエンジンを止めてから給油してください。給油後にブローワーを始動するときは、給油場所から3メートル以上離れた場所に移動させてから始動してください。
- 触媒マフラーは、ブローワーの運転中および停止後しばらくは非常に高温になっています。アイドリングの場合も

同様です。特に可燃性物質や可燃性ガスのある場所の近くでブローワーを使用するときは、火災にご注意ください。

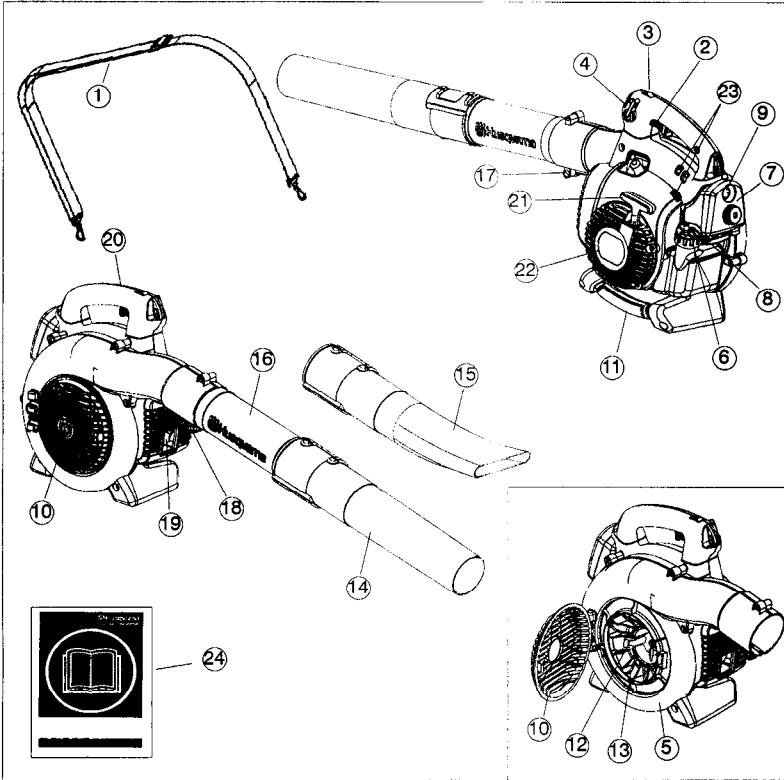
- 左手で操作をするときは特に注意して操作してください。インレットカバー部分に直接身体が触れないようにしてください。宝飾品、だぶだぶの衣服、緩く結んだ紐類、ネクタイ、飾り房などをインレットカバー部分から離してください。
- はしごやスタンドに乗ったままでのブローワーの使用はおやめください。
- 輸送するときはブローワーを固定してください。

その他の安全注意事項

- ブローワーを使用するときは、早朝や深夜などを避けて周囲の迷惑にならない時間帯に使用してください。地域の条例で指定されている時間帯に合わせて使用してください。通常では、月曜日から土曜日の午前9時から午後5時までの使用をお勧めします。
- スロットルを必要最低限の速度に設定して使用してください。
- ブローワーの状態を点検してから使用してください。特に、マフラー、エアークリーナー、エアフィルターなどの点検を行ってください。
- ブローワーで地面のがれき類を吹き飛ばすときは、熊手やホウキでがれき類をほくしてから使用してください。
- 埃の多い環境では、作業領域にホースで少し水をまいてください。
- 芝生や、軒樋、網戸、テラス、庭など、様々な用途において、水を使用する代わりにブローワーを使用することによって、節水にお役立てください。
- 子供やペット、開いた窓、車などに注意して、安全にブローワーを使用してください。
- なるべく地面の近くで送風するように、ノズルを最大限に伸ばして使用してください。
- ブローワーの使用後は、がれき類を集めてゴミ箱へ廃棄するようにしてください。

各部の名称と説明

ブロー本体

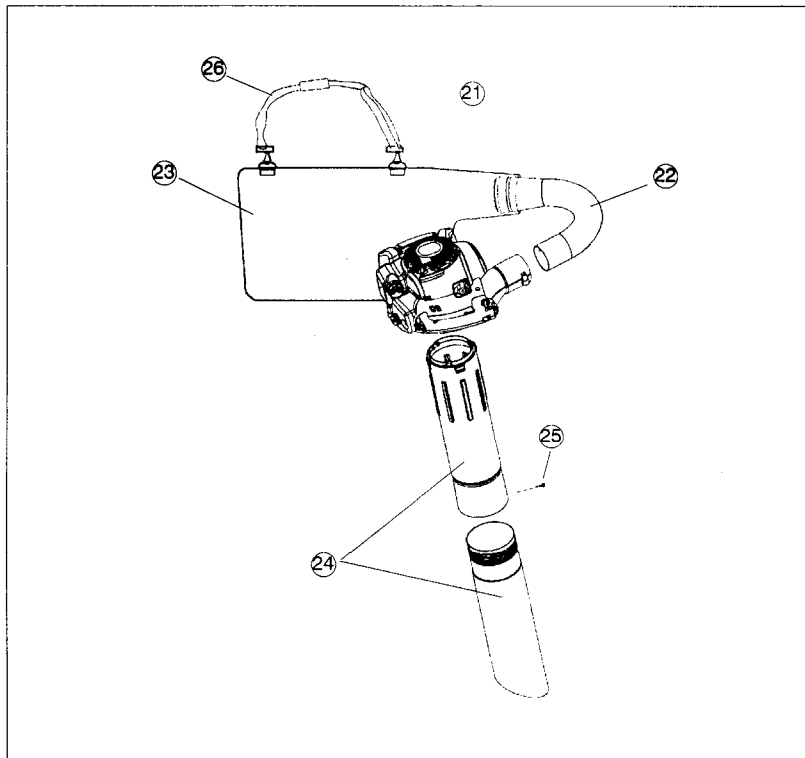


各部名称

- | | |
|---|--|
| 1. ショルダーストラップ(125BV _X -SERIES) | 13. ファンインペラー |
| 2. スロットルトリガー | 14. 標準ノズル |
| 3. STOP(ストップ)スイッチ | 15. 高速度ノズル(125B _X -SERIES および 125BV _X -SERIES) |
| 4. 可変速制御 | 16. ブローチューブ |
| 5. ファンハウジング | 17. チューブクランプボルト |
| 6. 燃料キャップ | 18. チューブクランプナット |
| 7. エアフィルター | 19. マフラー |
| 8. チョーク | 20. アース線 |
| 9. プライマリーポンプ | 21. スタートハンドル |
| 10. インレットカバー | 22. スターター装置 |
| 11. バキュームハンドル(125B _X -SERIES および 125BV _X -SERIES) | 23. キャブレター調整ネジ |
| 12. カッター(125B _X -SERIES および 125BV _X -SERIES) | 24. 取扱説明書 |

各部の名称と説明

アクセサリ (125B_X-SERIES および 125 BV_X-SERIES)



- 21. 収集バッグ付きのバキューム装置 (以下22～26の部品で構成)
- 22. 収集バッグチューブ
- 23. 収集バッグ
- 24. 二分割式バキュームチューブ
- 25. ネジ
- 26. ショルダーストラップ

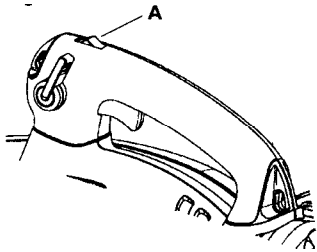
各部の名称と説明

安全装置

ブロワーに搭載されている以下の装置は、人や器具を保護するよう設計されています。ブロワーの使用、点検、メンテナンスの際には、特にこれらの装置に注意して行ってください。

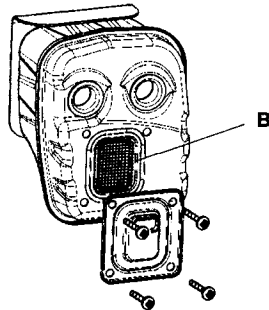
ストップスイッチ

ストップスイッチ(A)はエンジンを停止するときに使用します。



マフラー

- マフラーは、騒音レベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざけるように設計されています。触媒コンバーター搭載のマフラーも有害な排気ガスを低減するように設計されています。
- エンジンからの排気ガスは高温となり、火花が含まれている場合があります。排気ガスを乾燥した可燃性物質に向けて、火災のおそれがあります。
- 乾燥した気候の地域で販売されているブロワーでは、スパークアレスタースクリーン(B)が搭載されている機種もあります。スパークアレスタースクリーンは清掃するか、一定期間で交換するようにします。「メンテナンス」を参照してください。

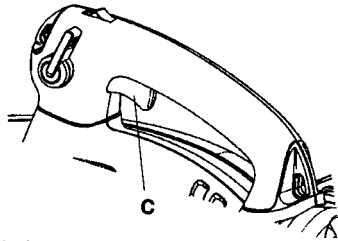


警告! マフラーは、エンジンの運転中および停止後しばらくは非常に高温になっています。高温のマフラーには触らないでください。重度の火傷を負うおそれがあります。

その他の装置

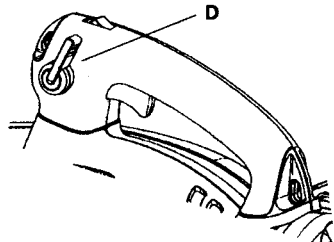
スロットルトリガー

エンジンの速度と出力量はスロットルトリガー(C)によって調整します。



可変速制御

- 可変速制御(D)は、ブロワーの送風運転中のみ、必要に応じてエンジン回転数を設定するようになっています。

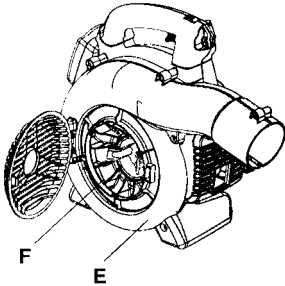


各部の名称と説明

- ブローワーの故障を防ぐため、可変速制御は、始動時および集じん運転中には使わないようにしてください。

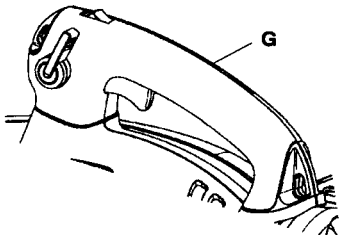
ファンハウジング

ブローワーのファンハウジング(E)とファンインペラー(F)により、高性能な送風が可能となっています。



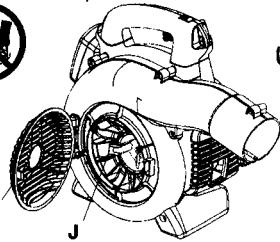
アース線

- アース線(G)は、乾燥した環境でブローワーを使用する際に、静電気の発生を抑えます。



インレットカバー

- インレットカバー(H)はファンハウジングの側面に取り付けられています。インレットカバーを開くと、インペラーの清掃や点検を行うことができます(125B_X-SERIES および 125BV_X-SERIES)。パキュウムチューブを使用する場合は、インレットカバーの開口部に取り付けます。インレットカバーを開くときは、工具を使ってヒンジの反対側の端を持ち上げます(インレットカバーに矢印が示されています)。



警告! インレットカバーが閉じられていない場合や破損している場合、または閉じることができない場合は、ブローワーを始動しないでください(パキュウムチューブ装着の場合を除く)。

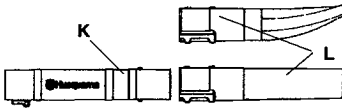
カッター(125B_X-SERIES および 125BV_X-SERIES)

- 2本のカッター(J)がインペラーに固定されています。落ち葉やがれき等が収集バッグに入る前にカッターで裁断します。

ブローワートューブおよびノズル

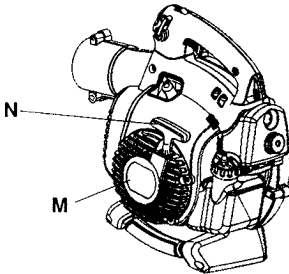
- ブローワートューブ(K)にはブローワー本体へのスロット装着システムが搭載されています。ブローワートューブ(125BV_X-SERIESの場合は収集バッグ)を脱着するときは、チューブクランプボルトを緩めます(ナットはボルトから外さないようにします)。ブローワーエア吹出口のスロットをチューブの突起に合わせ、チューブに挿入します。チューブクランプボルトを締め付けます。
- ノズル(L)には、ブローワートューブに接続するためのバヨネットマウントが取り付けられています。空気がブローワートューブからノズルへと流れて噴射速度が上がり、最適な気流パターンが作られます。ブローワートューブの長さは、ノズルを左側にひねってバヨネットマウントを外し、ノズルを適切な位置に動かすことによって調整することができます。カチッというまでノズルを右側にひねると、再度ノズルを固定することができます。

各部の名称と説明



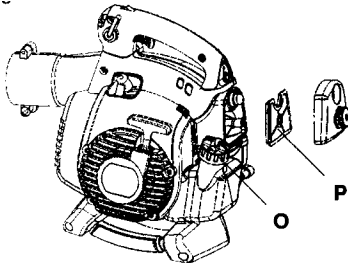
スターター装置およびスターターハンドル

- スターター装置(M)はエンジンシュラウドの側面に取り付けられており、スターターハンドル(N)を引いたときのみクランクシャフトに接続されます。



燃料キャップ

- 燃料キャップ(O)は燃料タンクのエンジンシュラウド後部に取り付けられており、燃料漏れ防止のために密封されています。

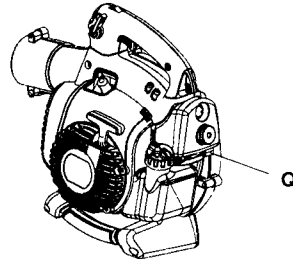


エアフィルター

- エアフィルター(P)は、弾力のあるフレームに入ったろ過媒体から成っています。エアフィルターは定期的に清掃してください(「メンテナンス」を参照)。定期的に清掃をしないと、プロパーの燃料消費が不必要に増えたり、性能が落ちたり、スパークプラグの電極に燃料が付着することがあります。

チョーク

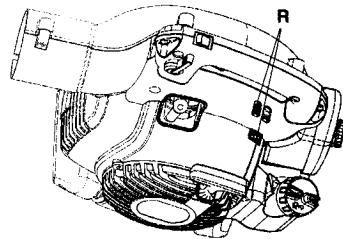
- チョーク(Q)は、エアフィルターカバーの下側に取り付けられており、エンジンを冷間スタートさせるときに使用します。



キャブレターの調整

特定機種のみ

- キャブレター調整ネジ(R)が3箇所あります。
 - 低速ジェット
 - 高速ジェット
 - アイドリング調整ネジ
- キャブレターを調整するときは、気候、高度、使用するガソリンや2ストロークエンジンオイルなど、使用する地域の環境に合わせてエンジンを調整する必要があります。キャブレターの調整の詳細については、「メンテナンス」を参照してください。



燃料の取り扱い

燃料の混合

注意!

ブローワーは2ストロークエンジンを搭載しています。必ずガソリンと2ストロークエンジンオイルを混合して使用してください。適切な混合比となるように、オイル量を正確に測定してから混合してください。少量の燃料を混合する場合、わずかな量の違いでも混合比に大きく影響します。

警告!

燃料を取り扱うときは、十分に換気が行える場所で取り扱ってください。

ガソリン



注記!

必ず、90オクタン以上の良質のガソリンとオイルの混合燃料を使用してください。入手できる場合は、アルキレートガソリンとしても知られる、低排出ガスのガソリンを使用してください。



- オクタン価は90以上をお勧めします。90オクタン未満でエンジンをかけた場合、ノッキングを起こす可能性があります。エンジンが高温になり、エンジン破損のおそれがあります。
- 継続的に高速回転で使用する場合、より高いオクタン価をお勧めします。

2ストロークオイル

- ブローワの性能を最大限に引き出すために、ハスクバーナ社の2ストロークエンジン用に開発されたハスクバーナ社純正2ストロークオイルを使用してください。混合比 1:50 (2%)
- ハスクバーナ社純正2ストロークオイルを入手できない場合、他の良質の空冷式エンジン用2ストロークオイルを使用してください。

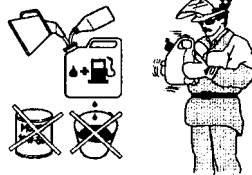
オイルを選ぶ際には、製品をご購入された販売店へご連絡ください。2ストロークオイルに記載された混合比を参照してください。

- 外付け水冷式エンジン用の2ストロークオイル(アウトボードエンジンオイル)は使用しないでください。
- 4ストロークエンジンオイルを使用しないでください。

ガソリン L	2 ストロークオイル L	
	2% (1:50)	3% (1:33)
5	0.10	0.15
10	0.20	0.30
15	0.30	0.45
20	0.40	0.60

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、清潔な燃料用の容器に入れて混合してください。
- 必ず、まず始めに、使用する半分の量のガソリンを入れます。次に、使用するオイルをすべて加えます。ガソリンとオイルの混合物を振って混ぜます。その後、残りのガソリンを加えます。
- 燃料の混合物を完全に混ぜ合わせてから、ブローワの燃料タンクに入れます。



- 一度に1ヶ月分以上の燃料を混合しないでください。
- ある程度の期間ブローワーを使用しない場合、燃料タンクを空にして、きれいにしておいてください。

警告! 触媒コンバーターマフラーは、使用中、および使用後もしばらくは高温になっています。アイドリングの場合も同様です。特に、可燃性物質や蒸気の近くでブローワーを使用するときは、火災への注意が必要です。

燃料の取り扱い

給油



警告! 下記の注意事項を遵守することによって、火災の危険性を低減することができます。

燃料の近くで喫煙したり、高温のものを置かないでください。

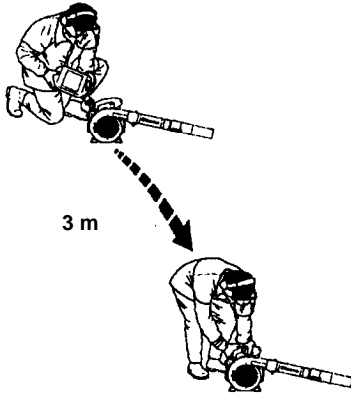
必ずエンジンを停止させてから給油してください。

給油するときは、エンジンを止めて、しばらく冷却させてから給油してください。

給油するときは、圧力を逃がすように燃料キャップをゆっくりと開いてください。

給油後は、燃料キャップをしっかりと締めてください。

必ず、給油を行う場所から離れた場所にブローワーを移動させてから始動してください。



- 燃料キャップの周りをきれいにしてください。タンク内が汚れている場合は、操作上の問題が生じる可能性があります。
- 燃料は、容器を振って、よく混ぜ合わせてからタンクに入れてください。

始動と停止

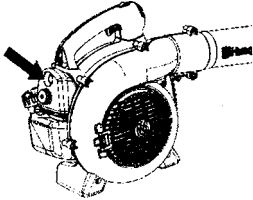
始動と停止



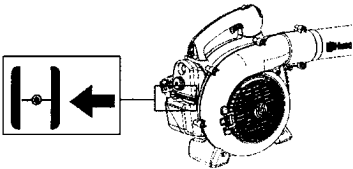
警告! インレットカバーが閉じられていない場合や破損している場合、または閉じることができない場合は、ブロワーを始動しないでください(バキュームチューブ装着の場合を除く)。

エンジンが冷めているとき

プライマリーポンプ: プライマリーポンプに燃料が送られるまで、ポンプを10回押します。ポンプは満タンにする必要はありません。



チョーク: 青色のエンジンチョークレバーを閉鎖位置まで動かします。



始動

左手でブロワー本体を地面に固定します。(注意! 足で固定しないでください。)

スターターロープのハンドルを右手でしっかりと握ります。スロットルトリガーは引かないようにしてください。スターターブリーが噛み合う感触を感じるまでロープをゆっくりと引き、その後、素早く、力強くロープを引きます。

警告! スターターロープを手に巻きつけないようにしてください。

エンジンが始動するまでスターターハンドルを引きます。ただし引くのは3回までとしてください。チョークを 1/2 位置に動かし、エ

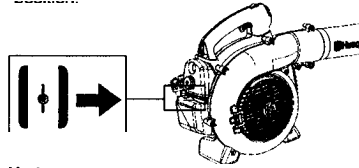
ンジンが始動するまでロープを引きます。エンジンを約10秒間温め、チョークを OFF CHOKE (開) 位置に動かします。

注記: エンジンが停止した場合は、青色のチョークレバーを閉鎖位置まで戻し、始動の手順を繰り返します。

注意! スターターロープを限界まで引き出さないでください。また、完全に引き出した状態でスターターハンドルを放さないでください。ブロワーが破損するおそれがあります。

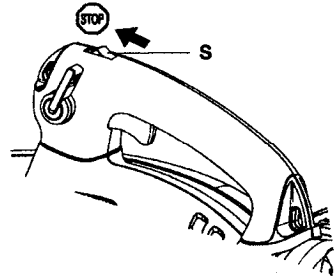
エンジンが温まっているとき

エンジンが温まっているときは、スロットルトリガーを引き、そのまま保持します。チョークを 1/2 位置に動かします。エンジンが始動するまで、スロットルトリガーを引きながらスターターロープを素早く引きます。チョークを OFF CHOKE (開) 位置に動かします。



停止

エンジンを停止するときは、エンジン STOP (ストップ) スイッチ (S) を押します。スイッチは自動的に ON 位置に戻ります。ブロワーを再始動する場合は、7秒間待ち、スイッチがリセットされてから行います。

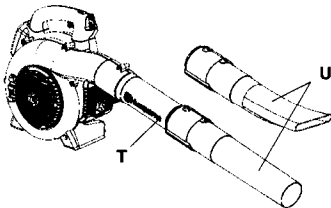


ブロワーの使用

地面のがれき類を吹き飛ばす場合
ブロワーにブロワーチューブとノズルを取り
付けます。

警告!ブロワーチューブおよびノズルを取り
付けるときは、必ずエンジンを停止させて
から取り付けてください。

ブロワーチューブ(T)にはブロワー本体への
スロット装着システムが搭載されています。ブ
ロワーチューブ(125BV_X-SERIESの場合は収集
バッグチューブ)を脱着するときは、チューブク
ランプボルトを緩めます(ナットはボルトから外
さないようにします)。ブロワーエア吹出口
のスロットをチューブの突起に合わせ、チュー
ブを挿入します。チューブクランプボルトを締
め付けます。



ノズル(U)には、ブロワーチューブに接続する
ためのバヨネットマウントが取り付けられてい
ます。空気がブロワーチューブからノズルへと
流れて噴射速度が上がり、最適な気流パター
ンがつけられます。ブロワーチューブの長さは、
ノズルを左側にひねってバヨネットマウントを
外し、ノズルを適切な位置に動かすことによ
って調整することができます。カチッというまでノ
ズルを右側にひねると、再度ノズルを固定す
ることができます。

送風

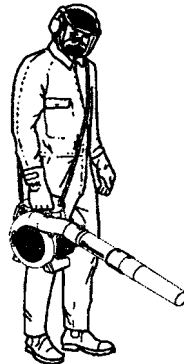
ブロワーを使用するときは、必要な安全器具
を着用してから使用してください。

警告!ブロワーを使用するときは、下記の
安全器具を着用してください。

1. 耳の保護具
2. 目の保護具
3. 保護手袋
4. 埃の多い環境におけるフェイスマスク



125BV_X-SERIES の場合は、より快適にお使
いいただけるよう、ショルダーストラップを
付けて使用することができます。ショルダー
ストラップは、図に示すように肩にかけて
使用します。



ブロワーの使用

警告! ブロワーノズルを絶対に人や動物に向けないでください。高速度で噴射される空気には細かなゴミなどが含まれている可能性があり、重症を負う原因となるおそれがあります。ブロワーで集じん作業をした後は特に危険です。左手で操作をするときは特に注意して操作してください。インレットカバー部分に直接身体が触れないようにしてください。宝飾品、だぶだぶの洋服、緩く結んだ紐類、ネクタイ、飾り房などをインレットカバー部分から離してください。**警告!** インレットカバーが閉じられていない場合や破損している場合、または閉じることができない場合は、ブロワーを始動しないでください(バキュームチューブ装着の場合を除く)。

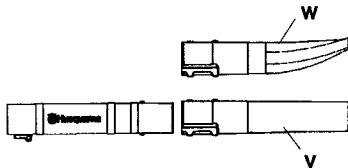
警告! はしごやスタンドに乗ったままでのブロワーの使用はおやめください。

ブロワーは、「始動と停止」に記載されている通りに始動してください。また、以下の指示に従って使用してください。

1. 壁や岩、自動車、フェンスなどの固定物に向かって送風しないでください。
2. 囲まれた場所で使用するときは、隅から中心に向かって作業してください。がれき類が顔に飛んできて、目を負傷するおそれがあります。
3. ブロワーノズルを傷つきやすい植物に向けないでください。

標準ノズル

標準ノズル(V)は125B、125B_X-SERIES、および125BV_X-SERIESに同梱されています。より高精度で高濃度のエア噴射を行いたい場合に標準ノズルを使用します。



高速度ノズル

高速度ノズル(W)はブロワーの付属品です(125B_X-SERIES および 125BV_X-SERIESに同梱)。空気流の幅を広げたり、風速を高めたい場合に高速度ノズルを使用します。

地面からがれき類を吸い込む場合 (125B_X-SERIES および 125BV_X-

SERIES)

集じん器具は付属品です(125BV_X-SERIESに同梱)。

バキュームチューブへの収集バッグの取り付け

警告! チューブおよびノズルをブロワーに取り付けるときは、必ずエンジンを停止させてから取り付けてください。

1. 収集バッグを開きます。図に示すように、収集バッグから出ている収集バッグチューブをバキュームインレット開口部に取り付けます。ゴムが溝に入っていることを確認してください。収集バッグのジッパーを閉じます。
2. ブロワーチューブを外して、収集バッグチューブを取り付けます。チューブクランプボルトを締め付けます。運搬用ストラップを収集バッグのループに取り付けます。
3. 下側のバキュームチューブと上側のバキュームチューブの矢印位置を合わせます。下側のバキュームチューブが上側のバキュームチューブにしっかりと取り付けられるまで、下側のバキュームチューブを約7 cm 押し込みます。上下のチューブが外れないように付属のネジで取り付けます。
4. ブロワー側面のカバーを、ヒンジが付いてない側の端をドライバーで持ち上げて開きます(インレットカバーに矢印が示されています)。
5. ブロワー底面の大きな開口部にバキュームチューブを押し入れ、ツメをチューブのスロットと合わせます。パヨネットマウントがロックされるまで回します(ロックマークが合います)。

ブロワーの使用

集じん

ブロワーで集じん運転をするときは、必要な安全器具を着用してから使用してください。

警告! ブロワーを使用するときは、以下の安全器具を着用してください。

1. 耳の保護具
2. 目の保護具
3. 保護手袋
4. 埃の多い環境におけるフェイスマスク



ブロワーを使用するときは、収集バッグがショルダーストラップで支えられている必要があります。ショルダーストラップは、図に示すように肩にかけて使用します。



警告! 必ず収集バッグに損傷がなくジッパーが閉じていることを確認してからブロワーを始動してください。損傷のある収集バッグは使用しないでください。がれき類が飛び出し、負傷するおそれがあります。左手で操作をするときは特に注意して操作してください。排気口に直接身体が触れないようにしてください。

警告! インレットカバーが閉じられていない場合や破損している場合、または閉じることができない場合は、ブロワーを始動しないでください(バキュームチューブ装着の場合を除く)。

警告! はしごやスタンドに乗ったままでのブロワーの使用はおやめください。

ブロワーは、「始動と停止」に記載されている通りに始動してください。また、以下の指示に従って使用してください。

1. 木、缶、長いひもやリボンのような大きな固形物を吸い込まないでください。インペラーが破損するおそれがあります。
2. バキュームチューブを地面にぶつけないようにしてください。
3. 収集バッグを空にするときは、ブロワーの運転を停止してから側面のジッパーを開いてください。

メンテナンス

メンテナンスの安全注意事項

使用者は、取扱説明書に記載する必要なメンテナンスをすべて行う責任があります。キャブレター調整時以外は、メンテナンスの前にスパークプラグを取り外してください。

キャブレター

ハスクバーナ製品は、有害な排気ガスを低減するよう設計・製造されています。エンジンの慣らし運転を 8~10 タンク分行います。慣らし運転後に有害な排気ガスを最低限に抑えつつ最大限の性能を発揮できるように、製品をご購入された販売店にキャブレターの調整を依頼してください。

機能



- キャブレターは、スロットル制御によりエンジン回転数を調整します。キャブレター内では、空気と燃料が混合されます。
- Tネジ(X)は、アイドルリングにおけるスロットル設定を調整します。Tネジを右に回すと、アイドルリング回転数が上がり、左に回すとアイドルリング回転数が下がります。

基本設定

- キャブレターの基本設定は工場の検査で調整されています。微調整は専門の技術者が行うようにしてください。

推奨アイドルリング回転数:

「テクニカルデータ」を参照してください。

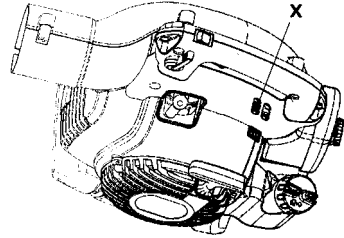
推奨最大回転数:

「テクニカルデータ」を参照してください。

アイドルリング回転数Tの微調整

アイドルリング回転数を再調整する必要がある場合は、アイドルリング調整用Tネジで微調整します。アイドルリング回転数が正しく調整

されると、エンジンがどの位置でもスムーズに動作します。



マフラー



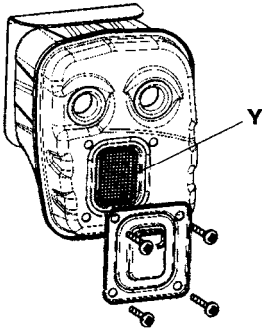
マフラーには、触媒コンバーター搭載のものが 있습니다。テクニカルデータを参照し、お使いのプロワーに触媒コンバーターが搭載されているか確認してください。

マフラーは、騒音レベルを低減し、排気ガスを使用者から遠ざけるための装置です。排気ガスは高温となり、火花が含まれている場合があります。排気ガスを乾燥した可燃性物質に向けると、火災のおそれがあります。

マフラーには、特殊なスパークアレスタースクリーン(Y)搭載のものが 있습니다。お使いのプロワーにこのようなスクリーンが搭載されている場合は、定期的に清掃する必要があります。スクリーンは、マフラー前部にあるアウトレットカバーを取り外した場所にあります。ワイヤーブラシを使用して、スクリーンの汚れを落としてください。触媒コンバーターのないマフラーでは、週一回、または必要に応じてスクリーンを交換してください。触媒コンバーター搭載のマフラーでは、月一回スクリーンの確認および清掃をしてください。スクリーンに損傷がある場合は、交換してください。スクリーンが頻繁に詰まる場合は、触媒コンバーターの機能が低下していることが考えられます。製品をご購入された販売店へ連絡し、マフラーの点検を依頼してください。スクリーンが詰まっていると、エンジンがオーバーヒートを起こし、シリンダーやピストンの損傷につながります。

メンテナンス

注意! マフラーが損傷している、またはマフラーが緩んでいるブロワーは使用しないでください。マフラーボルトがしっかり締まっていることを確認してください。



警告! 触媒コンバーター搭載のマフラーは、使用中、および停止後しばらくは非常に高温となります。アイドリングの場合も同様です。接触すると火傷のおそれがあります。また、火災の危険もありますので、ご注意ください。

警告!

エンジンの排気ガスは一酸化炭素が含まれており、一酸化炭素中毒の危険性があります。そのため、屋内または換気の悪い場所でブロワーを始動させないでください。エンジンからの排気ガスは高温となり、火花が含まれている場合もあるため火災が発生する危険があります。ブロワーを屋内や可燃性物質の近くで始動させることは絶対におやめください。

警告! マフラーの内部には、発がん性物質が含まれています。マフラーが破損している場合、内部には触れないようにしてください。

冷却システム

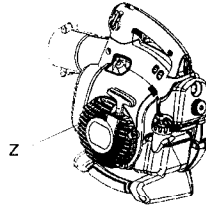


エンジンには、動作中温度を適切に保つための冷却システムが搭載されています。冷却システムは、以下の部品で構成されています。

1. スターター装置のエアーインテーク(Z)
2. フライホイールのファンブレード(AA)
3. シリンダーの冷却フィン(BB)
4. シリンダーカウリング(冷却エアーをシリンダー表面に送る装置)

冷却システムを週一回、または必要に応じてそれ以上の頻度でブラッシングして清掃してください。

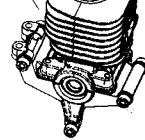
冷却システムに汚れや異物がある場合、ブロワーのオーバーヒートが発生し、シリンダーおよびピストンが損傷するおそれがあります。



AA



BB

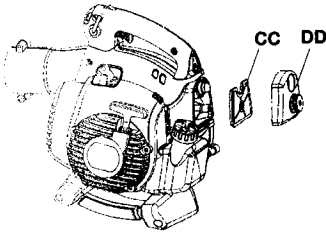


エアーフィルター

エアーフィルター(CC)は、埃や汚れを落とすために定期的に清掃してください。定期的に清掃することで、以下の症状を防ぐことができます。

- キャブレターの故障
- 始動の不具合
- 性能の低下
- エンジン部品の過度な摩耗
- 燃料の異常な消費
- 有害排気ガスの増加

メンテナンス



運転時間が25時間に達したら、フィルターを清掃します。作業領域の空気が埃っぽい場合は、頻度を多くします。

エアフィルターの清掃

エアフィルターカバー(DD)を取り外し、フィルターを取り出します。温かい石鹸水で洗浄します。

その後、よくすすぎます。フィルターは完全に乾いてから取り付けます。

長期間使用したエアフィルターの汚れは落ちにくくなっています。そのため、フィルターは定期的に新しいものと交換してください。

注意! エアフィルターに傷がある場合は、必ず交換してください。

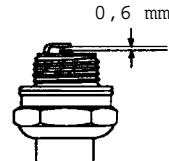
スパークプラグ

スパークプラグの状態は以下の要因によって影響されます。

- 不適切なキャブレター調整
- 燃料の不適切な混合(オイル過多、異なる種類のオイル使用)
- 劣化したガソリンやオイルの使用
- 汚れたエアフィルターの使用

これらの要因は、スパークプラグの電極に沈着物が生じる原因となり、動作不良や始動がしにくくなるなどの問題を引き起こします。ブロワーの電源が低下すると、始動しにくくなったり、アイドリング回転数が低下したりします。そのような場合は、次の動作に移る前に、スパークプラグを点検してください。スパークプラグが汚れている場合は汚れを落とし、電極の隙間が0.6 mmあることを確認します。使用1ヶ月経過後、または

必要に応じてそれ以前にスパークプラグを交換してください。



注意! 必ず推奨されるタイプのスパークプラグを使用してください。その他のスパークプラグを使用すると、ピストンまたはシリンダーが損傷するおそれがあります。

メンテナンススケジュール

一般的なメンテナンス方法を以下に示します。

毎日のメンテナンス

- ブロワーの外側を清掃します。
- 安全に留意しながら、可変速制御とスロットトリガーの機能を確認します。部品に傷がある場合は交換します。
- 停止スイッチが正しく機能することを確認します。必要に応じて交換します。
- エアフィルターを清掃します。必要に応じて交換します。
- 125B_{X-SERIES} および 125BV_{X-SERIES}: インレットカバーが閉鎖位置でロックされることを確認します。ファンインペラーに汚れがないことを、安全に留意しながら確認します。がれきを収集する集じん機としてブロワーを使用する際には、特に念入りに確認します。
- ナットおよびネジがしっかり締まっていることを確認します。
- ハウジングにひびなどの傷がないことを確認します。傷がある場合は交換します。
- 125B_{X-SERIES} および 125BV_{X-SERIES}: 収集バッグに損傷がなく、ジッパーが使えることを確認します。必要に応じて交換します。

メンテナンス

毎週のメンテナンス

- スターター装置、スターターロープ、テンションスプリングの状態を確認します。傷がある場合は交換します。
- スターター装置のエアークリーナーの状態を確認します。詰まりがある場合は、異物を取り除きます。
- スパークプラグの外側の汚れを落とします。スパークプラグを取り外し、電極の隙間を確認します。隙間を 0.6 mm に調整、またはスパークプラグを交換します。レジスタースパークプラグは、Champion RCJ-6Y または相当品を使用します。
- フライホイールのファンブレードを清掃します。
- スパークアレスタースクリーンを清掃または交換します（触媒コンバーター付マフラーのもの以外）。
- キャブレター部を清掃します。
- エアークリーナーを清掃します。

毎月のメンテナンス

- 燃料タンクを清掃します。
- キャブレターの外側と周辺部を清掃します。
- フライホイールのファンブレードと周辺部を清掃します。
- 燃料ラインにひびやその他の損傷がないことを確認します。必要に応じて交換します。
- 燃料タンク内の燃料フィルターを交換します。
- すべてのケーブルと接続部を確認します。傷がある場合は交換します。
- スパークプラグを交換します。スパークプラグは、Champion RCJ-6Y または相当品を使用します。
- エアークリーナーを交換します。

テクニカルデータ

テクニカルデータ

	125B	125B _{X-SERIES}	125BV _{X-SERIES}
エンジン			
シリンダー排気量、cm ³	28	28	28
シリンダーボア、mm	35	35	35
ストローク、mm	28.7	28.7	28.7
アイドリング回転数、min ⁻¹	2800~3200	2800~3200	2800~3200
最大回転数-送風、min ⁻¹	8600	8600	8600
最大回転数-集じん、min ⁻¹	—	7500	7500
最大エンジン出力、ISO 8893 準拠、kW	0.8	0.8	0.8
触媒コンバーターマフラー	搭載	搭載	搭載
イグニッションシステム			
スパークプラグ	Champion RCJ-6Y	Champion RCJ-6Y	Champion RCJ-6Y
電極の隙間、mm	0.6	0.6	0.6
燃料・潤滑油システム			
燃料タンク容量、L	0.5	0.5	0.5
重量			
燃料なし、ブロワーチューブ および標準ノズル装着時、kg	4.3	4.4	4.4
騒音排出 (注1参照)			
実測音響レベル dB(A)	106	106	106
保証音響レベル L _{WA} dB(A)	107	107	107
音響レベル (注2参照)			
使用者聴覚での等価音圧レベル ISO 22868 に準拠し計測、dB(A)			
ブロワーチューブおよびノズル (付属)装着時	94	99	99
バキュームチューブ(付属)装着時	—	99	99
振動レベル (注3参照)			
ハンドル位置での等価振動レベル(a _{hv,eq}) ISO 22867 に準拠し計測、m/s ²			
ブロワーチューブおよびノズル (付属)装着時	8.3	8.3	8.3
バキュームチューブ(付属)装着時、 左右	—/—	6.4/8.3	6.4/8.3

テクニカルデータ

注1: 環境内騒音排出はEC指令 2000/14/EC に準拠した音響(L_{WA})として計測。ブローアの音響レベルは、付属のアタッチメントを使い、最高レベルで計測。保証音響レベルと実測音響レベルの異なる点は、保証音響レベルはEC 指令 2000/14/EC に準拠して測定結果の分散および同じモデルの異なるブローア間の違いを含めていることです。

注2: ブローアの等価音圧レベルの報告データには、典型的に 1 dB(A) の統計的分散(標準偏差)が見られます。

注3: 等価振動レベルの報告データには、典型的に 1 m/s^2 の統計的分散(標準偏差)が見られません。

ファン	125B	125B _{X-SERIES}	125BV _{X-SERIES}
タイプ	ラジアルファン	ラジアルファン	ラジアルファン
最大風速、m/s(km/h)、標準ノズル	60 (217)	60 (217)	60 (217)
最大風速、m/s(km/h)、高速度ノズル	76 (273)	76 (273)	76 (273)
風量－送風、 m^3/h (cfm)	722 (425)	722 (425)	722 (425)
風量－集じん、 m^3/h (cfm)	—	756 (445)	756 (445)

モデル 125B、125B _{X-SERIES} 、125BV _{X-SERIES}	
純正アクセサリ	部品番号
ガタークリーニングキット	952 711 918

モデル 125B _{X-SERIES} 、125BV _{X-SERIES}	
純正アクセサリ	部品番号
バキュームキット	952 711 913

モデル 125B	
純正アクセサリ	部品番号
高速度ノズル	545 119 501

適合宣言

EC適合宣言(ヨーロッパのみに適用)

Husqvarna AB、SE-561 82 Huskvarna、スウェーデン、電話: +46-36-146500は、2009年のシリアル番号以降(製造年はシリアル番号と共に銘板に明記)のガーデンブロワー/バキューム **Husqvarna 125B**、**125B_{X-SERIES}** および **125BV_{X-SERIES}** が、評議会指令の規定に従うことをここに宣言します。

- 2006年5月17日付け「機械類に関する」**2006/42/EC**。

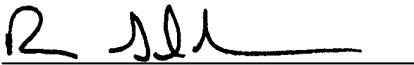
- 2004年12月15日付け「電磁波適合性に関する」**2004/108/EC**と適用補足文書。

- 2000年5月8日付け「環境への騒音排出に関する」**2000/14/EC**、付録 V。騒音排出に関する詳細は「テクニカルデータ」を参照してください。

次の標準規格にも適合しています: **EN12100-1:2003**、**EN12100-2:2003**、**CISPR 12:2005**

SMP, The Swedish Machinery Testing Institute (Fyrisborgsgatan 3 S--754 50 Uppsala, Sweden) が Husqvarna AB 社に代わり型式試験を実施しました。承認証番号: **SEC/09/2022**

2009年11月1日



Ronnie E. Goldman、技術部長
Husqvarna AB 社認定代理人、技術文書責任者

